

第62回 D-Wind Rally 『鉄道遺構を訪ねて 二十里半』 問題の答えと解説

2015/11/4

距離(km)		問題		正解率
スタート～1CP	10.45	問題A	昭和15年3月	79%
1CP～2CP	16.40	問題B	259m	89%
2CP～3CP	9.04	問題C	森の整備・野鳥への冬季の給餌	100%
3CP～4CP	3.93	問題D	法政大学のマーク	100%
4CP～5CP	12.66	問題E	2回	100%
5CP～6CP	4.49	問題F	0本	58%
6CP～7CP	3.98	問題G	2か所	79%
7CP～8CP	4.39	問題H	5つ	89%
8CP～9CP	6.45	問題I	同じ	84%
9CP～FCP	9.04	問題J	840. 37m	100%
		問題K	公民館駐車場	100%
		問題L	82ヶ月	32%
	80.83	問題M	敵機の音や種類	100%
		問題N	大雪	95%
		問題O	バスナビシステムを利用するため	95%
		問題X-1	大前駅	100%
		問題X-2	2CP(北軽井沢駅)近く	95%
		問題X-3	軽井沢駅構内の煉瓦サイロ、倉庫	100%
		問題X-4	9図	89%
		問題X-5	3図先	95%
		問題X-6	1CP近く	100%

	<p>【解説】 コース 廃線跡や鉄道遺構をたっぷり楽しんで頂けたと思います。実は、もう1つコース案内で紹介しなかった廃線跡がありました。私も知らなかったのですが、「1円70銭」さんに教えて頂きました。ありがとうございました。 3図から4図までの間の道(ダート)は、沓掛(中軽井沢)から小瀬温泉付近まで延びていた「林用手押し軌道」の跡だそうです。手押し軌道だったのであのように緩やかな勾配だったのですね。 軽井沢町図書館デジタルアーカイブ(下記URL)の『写真を探す』から『森林鉄道』で検索してください。 貴重な写真が出てきます。 http://karuizawalibrary-archive.jp/</p>
	<p>【解説】 距離 試走時、2図先から上りのワインディングになったので、基準距離がずれないように、制限速度を少し下回る速度で走ったのですが、そのせいか一桁減点のチームが8チームありました。良かった・・・。 通行止め区間は、開催要綱12. 注意事項(3)の通りの減点としました。但し、明らかに計測ミスや解答記載ミスと思われる減点は排除しました。</p>
	<p>【解説】 クイズ 今回は、X問題が前半の4CPで全て出てきましたので、後半お気楽にドライブが出来たのではないのでしょうか？ クイズは、草軽電鉄関係のクイズ(問題F、L)が難しかった様です。</p>
A	<p>碑の裏側に元々の『碓日嶺鐵道碑』が関東大震災で倒壊し、この碑は昭和15年3月に再建されたものと書かれてありました。2013年に開催したDWR52で、「熊ノ平駅跡」で出題した問題Pの石碑が元々の碑でした。</p>
B	<p>スタートの草軽電鉄電気機関車の説明板には、55. 5kmと書かれ、ゴールの『草津温泉駅跡』の石碑には、55km241mと書かれていました。 草軽交通のHPにも55. 5kmと出てきますので、ゴールの石碑の55. 241kmは何なのでしょうね・・・？</p>
C	<p>これは特に問題なかったですね。 X-6を見つけてもらうための問題でした。</p>

D	名前の変遷を含め北軽井沢駅の歴史を知ってもらうための問題でした。
E	これも問題なかったですね。何で法政大学はこんな所に大学村を作ったのでしょうか？ 先生方の避暑のためかな・・・？
F	この問題は、引っ掛け問題でした。昭和34年7月1日改正の時刻表では、当駅(北軽井沢駅)止め(2本)、始発(1本)を除いて上下12本が新軽井沢ー草津温泉間を走っている事が判ります。 ところが、問題文は、『昭和37年当時・・・』となっていました。問題Lの『草軽電鉄孀恋駅跡』の説明板には、昭和34年8月の台風で鉄橋が流され、孀恋駅、上州三原駅間がバス運行になり、翌年の4月に孀恋駅が廃業された(新軽井沢ー孀恋間が廃止された)とありましたので、昭和37年当時には、新軽井沢ー草津温泉間を走る電車は無かった事になります。 昭和34年7月1日に時刻表を改正した僅か1か月後に鉄橋が流された事になります。 草軽交通のHPによると鉄橋が流される10年前の昭和24年10月に、営業不振のため運輸大臣宛に新軽井沢ー上州三原間の鉄道廃止許可申請をしていた様ですので、台風さまただったのかもかもしれませんね(笑)
G	これの2問は問題なかったと思います。
H	
I	丁度電車が停まっていた方もいらっした様です。 草軽電鉄は昭和21年頃まで乗客数も多かったのですが、昭和20年に長野原線(今の吾妻線)が開通してから乗客が激減した様です。で、問題Fの解説に書いた通り、昭和24年に新軽井沢ー上州三原間の廃止許可申請をした訳です。主役の座を奪われた鉄道と奪った鉄道の営業距離が同じと言うのは偶然とは思えませんね・・・。
J	大前駅の駅名標の柱に標高が書かれてありました。駅にある標高表示はホントに細かいですね。 mm単位まで表記する意味はあるのかな・・・？
K	草軽電鉄の遺構なので、きっと説明の看板だと思ったら、『公民館駐車場』と書かれた看板でガッカリしたのでクイズにしました。孀恋村キャベツラリーでも紹介したので、孀恋村観光課の担当の方もここが遺構であることを知り、きっともう少し整備してくれるのではないかと期待しています(笑)
L	説明板の「孀恋駅の移り変わり」によると、大正8年11月に軽井沢から軽便鉄道がひかれ、孀恋駅が開設され、大正15年9月に孀恋駅より草津温泉まで延長されたとありましたので、大正8年11月から大正15年8月までが孀恋駅が終着駅だった事になります。最初の月を1ヶ月として考えますので、6年と10ヶ月＝82ヶ月となります。問題文が「何ヶ月か？」ですので、年月で答えられた方は不正解としました。 大正15年9月まで含めて83ヶ月の答えの方が何人かいらっしやいましたが、孀恋駅より草津温泉まで延長されたのも同様に最初の月を1ヶ月と考えて頂くと、大正15年9月は含めないと考えられたと思います。 ちなみに、草軽電鉄のHPの年表によると、孀恋まで鉄道が繋がったのは大正8年11月7日で、草津温泉まで繋がったのは大正15年8月15日の様です。(説明板の表記が何故9月なのかは不明です) また、台風で橋が流され孀恋ー上州三原間がバス運行だった期間を含まれた方もいらっしやいましたが、バス運行であっても草軽電鉄は草津温泉までつながっており、上州三原駅から草津温泉まで電車が走っていたので、終着駅は草津温泉になりますので、この期間は含みません。
M	レーダも無かった(?)時代ですから、こんな方法で敵機の襲来を監視していたのですね。 「敵機の音」は見分けるのではなく、聞き分けるのでは？と思われた方もいらっした様ですが、素直に説明看板通り答えてもらったら良かったです。実際は機影よりエンジン音の方が機種を判断出来たのではないかと思います。車のエンジン音でも昔の軽四のエンジン音は各社特徴があつて、後ろから来る車でもメーカー名は判りましたね(チョット自慢！？(笑)) 今は全く判りません・・・(˘_˘)；
N	これは説明板を見て頂いたら問題なかったと思います。誤字の方は不正解としました。 戦局が非常に悪くなっている時ですから、大雪であっても出荷したのでしょうか。 それにその日も1月2日で、正月三が日なんか関係なかったのでしょうか。
O	1日に7本しかないバス停ですから、余計にこういうナビシステムが有効かもしれませんね。 まだ到着時刻になっていないのに、もう既に行ってしまう事がありますからね、バスの場合は、QRコードの一般的な目的(入力の手間を省くなど)を書かれた方は不正解としました。
X	X問題のキーワードは、『廃線(haisen)』でした。
X-1	大前駅でキロポストを探してウロウロしている時に見つけられたと思います。 まさか駅のホームにあるとは思われなかったでしょう？
X-2	少し離れた所にありましたが、駐車場から北軽井沢駅跡に向かう時にほぼ正面に見えたと思います。
X-3	これは意外と見落とされるかなと思ったのですが、如何だったでしょう？ 1CPでX-6が出てきて、スタートに戻られた方はいらっしやいますか？(笑)
X-4	これもチョット上の方にあつたので、見つけにくかったでしょうか？ 写真から小さなものまたは、遠くにあるものを引き延ばしている事が判ったのではないのでしょうか？ それに問題文を「何図にいるか」にして、確認しやすい様に配慮しました。
X-5	1CPの先すぐにあつました。X-6が1CPの手前にあつたので油断して見落としそうになりましたか？ でも夜だから飛んでいても見えなくて、注意しようが無い様な・・・。
X-6	1CP手前にあつました。1CPに入る時に気が付かなくても、問題Cを確認する際に気が付かれたでしょうね。